

Heart to♡ Heart

Vol. 42

AIは鉄腕アトムの夢を見るか？



西脇市病院事業管理者・病院長
岩井 正秀

最近、医療DXと呼ばれる医療体制のデジタル化を厚生労働省は強く推し進めている。そこにはマイナンバーカードの利用も組み込まれている。病院など臨床の現場でも、その対応を早急に考えなくてはならない。また、AI（人工知能）に関する情報を耳にすることも多い。AIの進化には凄まじいものがあり、医療の面においても、その活用には目を見張るばかりだ。昔には思いもよらなかったことが、AIによって次々と可能になっている。しかし忘れてはならないのは、あくまでもAIは一つの道具であり、重要なのはそれを使う人間だということである。途方もない大量のデータを集め、深く学習し、AIは様々な提示を行う。生成AIしかり、ChatGPTしかりである。それらを見て、私は驚きはあるが、そして感心はするが、しかし感動は

しない。

かつて昭和40年前後に少年期を過ごした私達にとって、鉄腕アトムというのは特別な意味を持つ存在であった。まだ白黒だったアニメをテレビに噛り付いて見ながら、自分達の未来を思ったものだ。物語では、人間とロボットの共存する世界で色々な事件が起こるが、結局は人間の善悪が大きなテーマであった。正義感を持つ鉄腕アトムのおかげで、日本人はロボットに対する親近感が欧米よりも強いという説もある。外国では、今や古典となった映画「2001年宇宙の旅」や「ブレードランナー」など、人工物の反乱や人間との戦いを描いたものも多い。これらはコンピュータやアンドロイドが感情を持ち、自己防衛を始めたときの恐ろしさを語っている。

さて、この頃のAIである。信じられない程の進化の速度に、人間は付いて行くことができるのだろうか。人の感情も突き詰めれば複雑な化学反応の結果であるとするれば、それをAIが学習し獲得する可能性は、絶対に無いと言えるのだろうか。原子力を例に出すまでもなく、人は自らが作り出したものから恩恵のみを受け取っているわけではない。SNSや生成AIも同様で

ある。それらを扱う側が、成熟し、堅実に制御できなければ、その弊害は必ず現れるだろう。

根拠にもとづく医療（EBM）が重要だと言われて久しい。かつて、悪性疾患を持った患者さんに治療法の選択肢を提示し、それぞれの治療法による5年生存率を説明したことがあった。どの治療を選ぶかという話になって、その患者さんは静かな声で、こう言った。「あのね先生、いろんな数字を言ってくれましたけどね、私にとっちゃあね詰まるところ、生きるか死ぬか二つに一つなんですよ。そこそこ、先生わかってらっしゃいますか？」

AIも、ビッグデータと呼ばれる莫大な根拠を抱え込んでいる。医療に関するAIはそれらを分析して、素早く答を出してくるだろう。しかし、医療DXやAIがいくら進んでも、まだこの先も、人間が人間を診るということが、医療の本質であることは変わらない。我々はAIの能力を有効に活用しながらも、人として患者さんと向き合い、そして、患者さんの心を思い、体に触れて診察を行わなくてはならない。そのことゆえに、古くから、医療行為は「手当て」と呼ばれており、それは、AIには決して及ぶことのできない領域なのである。

糖尿病内科を新設しました

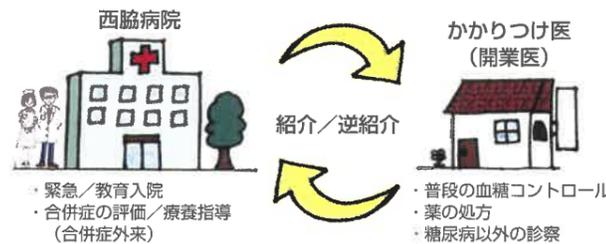
今までも内科の中の糖尿病サポートチームとして糖尿病診療にあたっておりましたが、今年度より「糖尿病内科」を新設することとなりました。専門医・指導医を含む常勤8名・非常勤1名の糖尿病内科医が、地域の皆様の健康を守るために、常に最先端の医療技術と知識を取り入れ、院内外ともにより専門性を持った治療を提供します。今回は当科が導入している糖尿病治療についてご紹介いたします。

1. 最新の治療法と技術

当院では、糖尿病の治療において最新の技術と治療法を積極的に取り入れています。例えば、最新のインスリンポンプや持続血糖モニタリングシステム（リブレ2®やデクスコムG7®など）を使用することで、より正確な血糖マネジメントが可能で、患者さん一人ひとりに最適な治療プランを提供できるようになっています。

2. 個別対応の治療プラン

糖尿病は患者さんの年齢や病態、合併症の有無などによってHbA1cの目標値や使用すべき薬剤が異なるため、当院では個別の治療プランを提案しています。糖尿病内科医を中心とした糖尿病サポートチームが最新のデータに基づき、最適な治療方法や生活習慣改善のアドバイスを行います。これにより、より効果的に血糖マネジメントをサポートします。



■糖尿病内科 外来担当表

	月	火	水	木	金
糖尿病 内分泌	新井 樋口	大井 (予約・紹介患者のみ)	柏木明香 堀尚也	上吉川 新井 (午後診)	柏木明香 毛利 来住 (午後紹介患者のみ)
糖尿病 合併症外来			柏木明香 (予約患者のみ)		

3. 患者さんのライフスタイルに寄り添うサポート

当院では、薬物療法だけでなく、それぞれのライフスタイルに寄り添ったサポートも大切にしています。管理栄養士や糖尿病療養指導士による栄養相談や運動療法のアドバイスなど生活全般にわたるサポートを行い、より良い生活の質を実現するお手伝いをしています。

上記を行っていくために、当院では日々の外来診療以外に、

- ・糖尿病合併症外来：1日で糖尿病の病態把握、合併症評価、栄養相談が可能な外来
- ・糖尿病透析予防外来：糖尿病内科医＋糖尿病療養指導士＋管理栄養士による外来。腎症2期（少量のタンパク尿が出ている）以上が対象。
- ・フットケア外来：足は神経障害や血流障害が起こりやすい部位で、糖尿病では特に足のケアが大切です。糖尿病療養指導士が足浴や爪切り、セルフケアの方法を指導します。
- ・糖尿病学習入院：毎月最初の平日が5日間続く週の月曜日から1-2週間の入院
- ・糖尿病教室：秋ごろに年2回実施。詳細は西脇市広報をご確認ください。

当院では地域のかかりつけ医と糖尿病内科医の2人の主治医を持つことを推奨しています。普段はかかりつけの先生で投薬や全身管理をしていただき、年に数回、当院で専門的な糖尿病の合併症評価、治療方針の相談を行うことで便利さと専門性を兼ね備えたより効率的な糖尿病診療が可能となります。当院での糖尿病診療をご希望の際はぜひかかりつけの先生にご相談いただき、当科への紹介受診をご検討ください。

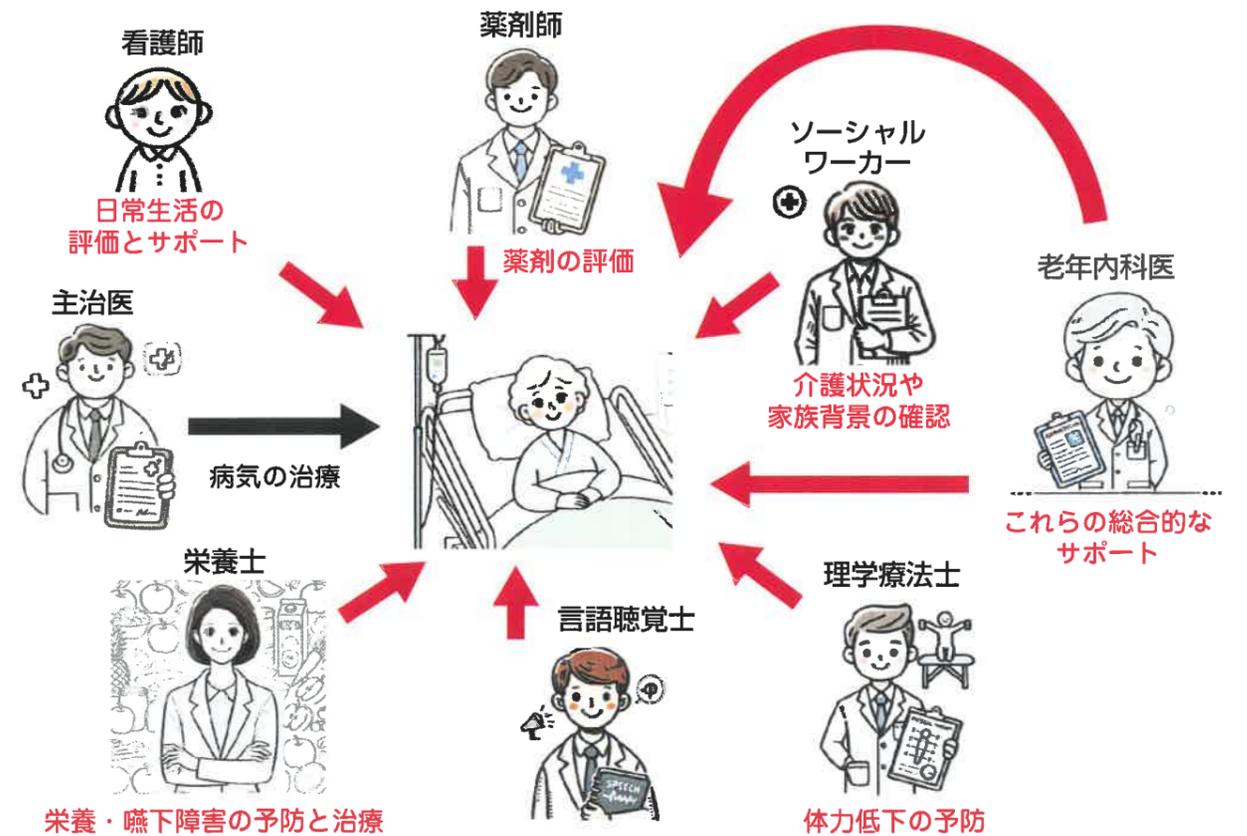
老年内科を新設しました

令和6年4月より西脇病院に老年内科が新設されました。高齢化率約34%の西脇市に位置する当院では、患者さんの多くの方が65歳以上です。老年内科は高齢者を直接診療するために設立されたものではありません。

高齢者の特徴は、一言でいうと多様性です。4歳児の発達が大体同じであることに比べて、例えば75歳と一括りにしても、スポーツを楽しめる方から寝たきりの方まで様々な方がいらっしゃいます。このため、高齢者は年齢だけで判断することはできず、日常生活はうまく送れているか、暮らしにおける問題点はないか、介護やサポートする方の状況はどうかなど、様々な視点から対応する必要があります。

また、このような多様性を持った高齢者が入院された場合、主治医による病気の治療だけでなく、本人のできることや周囲の状況も踏まえての対応を考慮しておかなければ病気だけを治療しても良い結果につながらないことがあります。さらに、例えば高齢者が入院中に治療のために安静にしていると体力が落ちてしまうことがありこれに対する予防も必要です。また、相互作用を起こして悪影響を及ぼさないように様々なところから処方されている薬の調整を行うなど、主治医とは異なる観点から高齢者の全身状態や背景因子を含めたサポートが必要です。

老年内科は、このような役割を担うために設立されました。現時点では、主治医として直接病気の治療を行うことはありませんが、主治医や、病院にいる看護師、理学療法士、言語聴覚士、栄養士、薬剤師、医療ソーシャルワーカーなどのさまざまなスタッフと共に、高齢者のトータルケアを行いより良い入院生活と円滑な退院を支援することを主な業務としています。



令和
6年度

はなみずきの会 活動ご紹介

市立西脇病院乳腺外科 三輪 教子

はなみずきの会は治療を受けている病院を限らないユニークな乳がん患者会です（平成21年（2009年）に北播磨で初めて発足）。

1 乳がん患者さんとご家族の不安の軽減（対象は乳がん患者さんとご家族）

定例会（奇数月の最後の土曜日の14-16時）

例年どおり、病院講堂で感染予防に努めながら行っています。前半は交流会、後半は院内講師とともに食事、運動、治療を学んでいます。5月25日は4人（交流会のみ）、7月27日は4人（それぞれ初参加の方も来られました！）参加され、リハビリ体操で身体をほぐしました。また、膝が痛くて思うように歩けないとお悩みに、膝に負担になりにくい体操を講師の先生が丁寧に教えてくださいました。みなさんがそれぞれに続けておられる運動のことなど和やかな会となりました。9月28日にも交流会のみで開催し、4人参加されました。昨年度前半は参加者が増えていましたが、今年度に入って少し減っています。新型コロナウイルス感染がまた増えてきており、第11波に入ったことや猛暑であることが一因かと思えます。みなさんどうぞお大事になさってください。

2 乳がん検診の啓蒙（対象：健康に関心のある方ならどなたでも）

- ①「乳がん検診に行こう」（7月の西脇病院フェスタ）は今年も中止となりました。
- ②「がんを知る会」（9月）は細々とでも出来ないかと思っていましたが、第11波のコロナ感染増もあり、今年も難しいかと思っています。

令和6年度下半期行事予定（変更の場合、広報や病院ホームページでお知らせします。）

1) 定例会 14時-16時 西脇病院講堂

令和7年1月25日(土)～交流会+栄養士さんのお話、3月29日(土)～交流会+薬剤師さんのお話

2) 「歩こう会」（10月27日(日)午前。西脇市多可郡医師会・西脇市健幸都市推進課・多可町健康課協力）

今年ものんびりやすらぎの道を歩く予定です（いつもよりはちょっと気合を入れて、と思っています。）9時にオリナス前。「がん検診に行こう」幟が目印です!!

3) 「にしわき乳がん市民公開講座」（11月30日(土)午後）

恒例のがんについて日本で第一線で活躍中の講師を招いての講演会ですが、今年も内輪の会として「がんになりやすい生活習慣（治療相談もいたします。）」をみらいえで開催予定です。←合わせて、健康グッズなどこれまでのイベントで配布しそびれたものを参加者のみなさんに自由にお持ち帰りいただきます。どうぞお楽しみに！

■お問い合わせ 西脇病院乳腺外科 三輪 教子
TEL.0795-22-0111 ✉ nishiwakinyugan@yahoo.co.jp



眼科手術機器について

眼科手術に関連する機器は光学系を中心として特に精密な機器が多いです。たかだか直径2～3cm程度のほぼ球体である眼球の中に小さな器具を挿入して顕微鏡で拡大しながら手術操作を行っているため、安全に手術を行う上で「きれいにくっきり見える」ことがとても重要です。



手術用顕微鏡は当院では従来からZeiss社製のものを使用していますが、今年度中に最新式のものに更新される予定です。その際、ヘッズアップに対応したモニター等も導入される予定です。本原稿作成時の現時点では機種確定前であるため具体的なものが提示できませんが、デモ機で体験してみると、自身のこれまでの三十年間ずっとのぞいていた顕微鏡の鏡筒を無視して、3D映像を見る偏光レンズの眼鏡をかけてモニターを見ながら手術するという全く不慣れなスタートではありません。

しかし、慣れてきて後頭部を含めて背もたれに完全にもたれながら手術をしてみると、姿勢が前傾にならず、首、腰等に不自然な力が入らずとても快適であることが分かりました。また、顕微鏡の徹照向上により白内障手術が行いやすくなり、硝子体手術においても眼内照明の光量を少し抑えることができるため患者の眼にとってもメリットがあります。

次に手術装置です。手術症例として、特に眼科らしい代表的なものは白内障手術、硝子体手術です。当院で使用している器械は、その白内障手術、硝子体手術を一台で扱える機器で全国的にも主流であるコンステレーション®です。こちらは消耗品が進化していくため、本体はそのままでも機能が充実しています。硝子体手術における眼内に挿入する器具のサイズについては現在一般に流通しているものとしては27ゲージが最小ですが、径が小さくなるほど吸引効率が落ちるので最細のものではなく25ゲージのものを使っています。硝子体を吸引除去する際に使用する硝子体カッターについては、安全性と効率という意味で10,000回転の先端が斜めになったものを採用しています。



様々な機器の発達で、最近出番があまりなくなってきましたが、眼内内視鏡システムも導入しています。こちらは眼内に挿入するプローブ径がファイバーの量と比例するためあまり細いと十分な解像度が得られないため23ゲージのものを使用しています。



また、眼瞼手術においては、切開創等からの出血を減らして術野を見やすくするため、高周波のラジオ波メスを施行しています。電気メスよりより繊細な切開が可能です。



今後も手術の進歩に関わるちょっとした便利グッズが出てくれば、どんどん試して幅広い手術に対応していければと思っています。

地域医療ワークショップ

来住副院長が地域医療をテーマにしたワークショップを実施しました。学生は2つのチームに分かれ、仮想的な患者ケースについて活発な議論を展開。各グループは、診察時の質問内容、必要な検査、そして患者ケアの方策について意見を交換しました。



ワークショップの特徴的な取り組みとして、病院スタッフが患者役を演じる模擬診療が行われました。この演習を通じて、医学生たちは実際の診療場面に近い環境で医療面接のスキルを磨くことができました。このようなワークショップを通して、学生たちは地域医療の現場で求められる実践的なスキルや知識を体験的に学ぶことができました。

夏休みの貴重な時間を費やして参加いただいた医学生の皆さん、ご協力いただいた関係者の方々に、心より感謝を申し上げます。このセミナーに参加した医学生たちが、近い将来、地域医療の現場で活躍する姿を心から楽しみにしています。

地域医療 夏季セミナー 2024を 開催



「地域医療夏季セミナー2024inひょうど」が開催され、西脇病院は8月22日と23日に15名の医学生を受け入れました。このセミナーは、神戸大学と兵庫県地域医療支援センターが主催し、医学生に地域医療の重要性を理解してもらうことを目的としています。参加した学生たちは、西脇病院での見学や体験を通して、地域医療の現場について楽しく学ぶことができました。

栄養士の簡単レシピ

重ね煮 アレンジレシピ：鶏とキノコの重ね煮

鶏とキノコの重ね煮

調理器具

- 鍋（容量2.4リットル）できれば厚手の鍋
（※アルミ鍋や薄手の鍋は焦げ付きやすいので水を200cc加えて煮込む）

材料・作りやすい分量（3人分）

- 鶏もも肉 300g(1枚)
- しいたけ 60g (3個)
- えのき 100g (1パック)
- まいたけ 100g (1パック)
- しめじ 100g (1パック)
- 白菜 500g (1/8カット)
- 生姜 少々
- 塩 鍋の底に小さじ1/4、白菜の上に小さじ1/4
- 仕上げの塩 小さじ1/2



完成品の総量は850~900gほど、季節によって多少異なります。

お塩は野菜の旨みを引き出すために使います。ミネラルを多く含む自然海塩を使用すると、さらに旨みがUPします。



食材には太陽に向かって伸びる陰の食材と地下に根をはり大地へと向かう陽の食材があります。重ね煮とは、この陰と陽の力で食材のうまみをひきだす調理法です。野菜のうま味でだしらずで美味しく作れます。

この重ね煮とごはん150gを合わせても470kcalととても低カロリーな一品です。たんぱく質もしっかり摂れ、食物繊維やビタミンを豊富に含んでいます。冬に備えて腸内環境を整え、免疫機能を高めてウイルスに負けない体作りの一品にいかがでしょうか。



作り方

- 鶏肉は一口大に切り、皮側を下にして両面に焼き色がつかまで火を通す。
- しいたけは石づきの汚れを取り、石づき、傘部分をそれぞれスライスする。
えのきは石づき部分を取り、半分に切る。しめじは石づき部分を振りほぐす。
まいたけもほぐしておく。
- 白菜は5cm大長さに食べやすい太さに切る。
- 生姜は薄くスライスしたものを1枚、千切りにする。お好みで増量可。
- 鍋に小さじ1/4の塩を振り入れ、②、③、④の順に入れ、小さじ1/4の塩を振りかける。
- 野菜の上に①をのせて、蓋をし弱火で30分煮る。野菜の香りがしてきたら重ね煮の出来上がり。
- 塩小さじ1/2、黒こしょうで味を調える。

※お好みでとろみをつけて中華風煮や水足してスープにもアレンジできます！

救急実習・DMAT活動紹介

経験豊富な看護師が、DMAT（災害医療チーム）の活動内容や役割についての解説と、救急実習を行いました。



市民交流施設オリエンス（医師会館）見学

西脇市市民交流施設は、「つながり」をテーマに、健康・地域・観光を軸とした3つの交流機能を有する施設です。「市庁舎」、「市民交流施設」、そして西脇市多可郡医師会がある「健康福祉連携施設」を見学しました。西脇市では、市役所、西脇病院、そして西脇市多可郡医師会が密接に連携しています。



旧来住家住宅、播州織工房館、玉木新雌見学

兵庫県西脇市の文化的特色をより深く把握するため、二つの象徴的な場所を訪れました。まず、大正期に建てられた邸宅で、現在は国の登録有形文化財となっている「旧来住家住宅」を見学。続いて、西脇市の伝統産業である播州織の歴史と技術を紹介する「播州織工房館」を訪問しました。この施設は、特徴的なのこぎり屋根を持つ工房とアンテナショップを兼ねています。

見学の締めくくりとして、バスで移動し、播州織の現代的な製造過程を垣間見るため、玉木新雌の工場を視察しました。この一連の訪問を通じて、西脇市の歴史的な建築物から現代の産業施設まで、地域の多様な側面を体験することができました。



外来診療担当医師一覧表 (令和6年10月1日現在)

【新来患者(初診)】午前8時～午前11時30分までに受付を済ませてください。
 (※診療科によっては、受付終了時間が午前11時までとなっておりますので、あらかじめご確認のうえ受診をお願いします。)
 【再来患者(再診)】予約のない患者は、午前7時30分～午前11時30分までに受付を済ませてください。

診療科	月	火	水	木	金	
内科	総合内科(初診)	平田 上吉川 樋口	堀順子 古本 浅野	宮田 安井 日向	金井 上吉川 西山	柏木明香 毛利
	消化器	平田 雨	堀順子 古本	宮田 日向	西山	担当医
	糖尿病内分泌	新井 樋口	大井 (予約・紹介患者のみ)	柏木明香	上吉川 新井(午後診)	柏木明香 毛利 来住(午後・紹介患者のみ)
	糖尿病合併症			柏木明香(予約患者のみ)		
	呼吸器		辰岡(予約・紹介患者のみ) 浅野	安井		辰岡(予約・紹介患者のみ)
	腎臓	平井(午後診) (予約患者様のみ)	担当医	担当医	金井	佐藤亮太(午後診) (予約患者様のみ)
	血液内科		松井	鈴木知秀(予約・紹介患者のみ)	松井(予約・紹介患者のみ)	
	リウマチ・膠原病 (完全予約制)		北播磨総合医療センター 担当医(第2・3・4火曜日) (予約・紹介患者のみ)			
	再診 (予約患者のみ)	堀順子	岩井	小出(午後診) 平田 柏木明香 堀尚也	岩井 柏木真雄 新井(午後診)	宮田 来住
		新井				
脳神経内科(完全予約制)		佐藤一彦		佐藤一彦	佐藤一彦	
認知症疾患医療センター外来(完全予約制)	佐藤一彦		佐藤一彦			
緩和ケア外来(完全予約制)	平田(午後診)					
循環器内科 (木・金曜日の受付は午前11時まで)	河合 石原	櫻本	河合	櫻本(再診予約のみ) 畑澤(担当医)	櫻本(午前診) 畑澤(午前診)	
禁煙外来(完全予約制)	受入れ一時停止中					
精神科 (完全予約制)	宮地 鎌田(第1・3・5月曜日)	伊藤篤 (午前診)	丸岡	宮本	担当医	
小児科 (受付は午前11時まで)	大森	佐伯	大森	佐伯 許(循環器) (予約患者のみ)	神戸大学医学部附属病院 担当医 (一般/腎臓)	
外科	担当医	伊藤卓貴	岸	担当医	白神	
乳腺外科	三輪	三輪 (ただし、遺伝相談 外来は予約のみ)	三輪 (午前診) (セカンドオピニオン外来)	三輪		
呼吸器外科					土井(第1金曜日) 田中(第3金曜日)	
心臓血管外科	北播磨総合医療センター担当医 (第1・第3月曜日)					
整形外科 (火・木曜日の受付は午前11時まで)	大内 伊藤淳 佐藤啓三 (紹介・再診予約のみ)	担当医 (初診・紹介患者のみ)	大内 深澤 折戸 佐藤啓三 (紹介・再診予約のみ)	担当医 (初診・紹介患者のみ)	伊藤淳 深澤 生田 森	
脳神経外科	片山	澤	井口	内橋		
脳血管内治療外来		片山(午前診)				
皮膚科	藤川 梅村 鈴木真莉子	藤川 梅村 鈴木真莉子	藤川 梅村 鈴木真莉子	藤川 梅村 鈴木真莉子	藤川 梅村 鈴木真莉子 横山	
泌尿器科	植木 野村					
産婦人科	阿江 (午後診)(予約患者のみ)	阿江	野村 (予約・紹介患者のみ)	阿江 (予約・紹介患者のみ)	野村	
眼科	板谷(予約患者様のみ)	板谷		板谷	板谷	
耳鼻いんこう科 (受付は午前11時まで)	神戸大学医学部附属病院 担当医		神戸大学医学部附属病院 担当医		神戸大学医学部附属病院 担当医	
放射線治療 放射線科		坂口 坂口	坂口	坂口		
歯科口腔外科	宮井 林田 三代	宮井 林田 三代	担当医	宮井 林田 三代	宮井 林田 三代	